

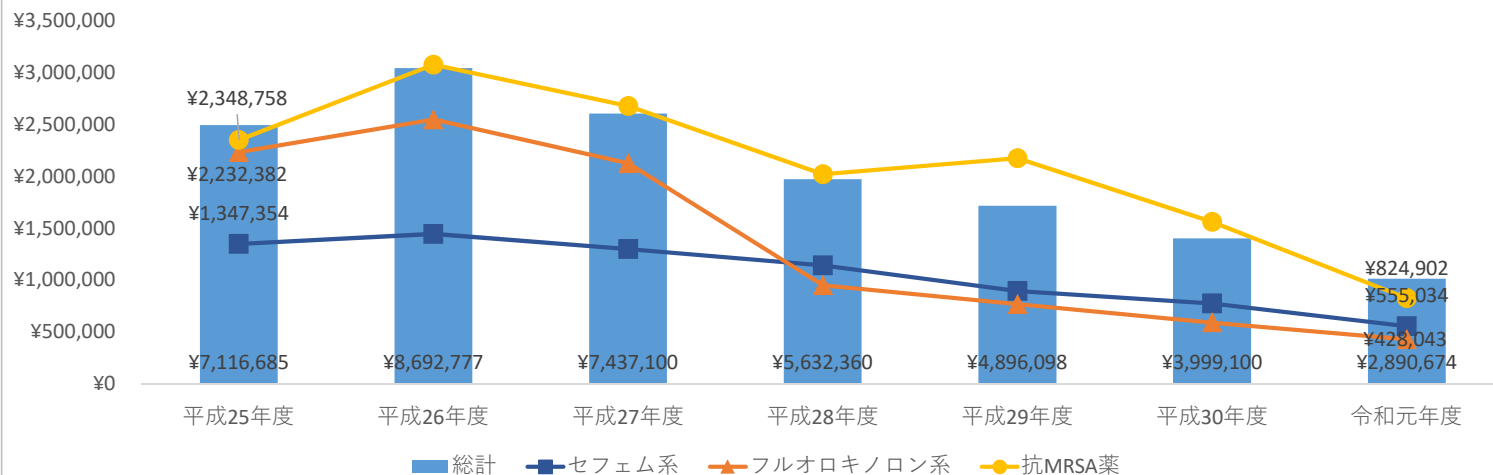
入院抗菌薬使用金額推移

令和2年5月28日

院内感染対策委員会資料

AST（抗菌薬使用支援チーム）

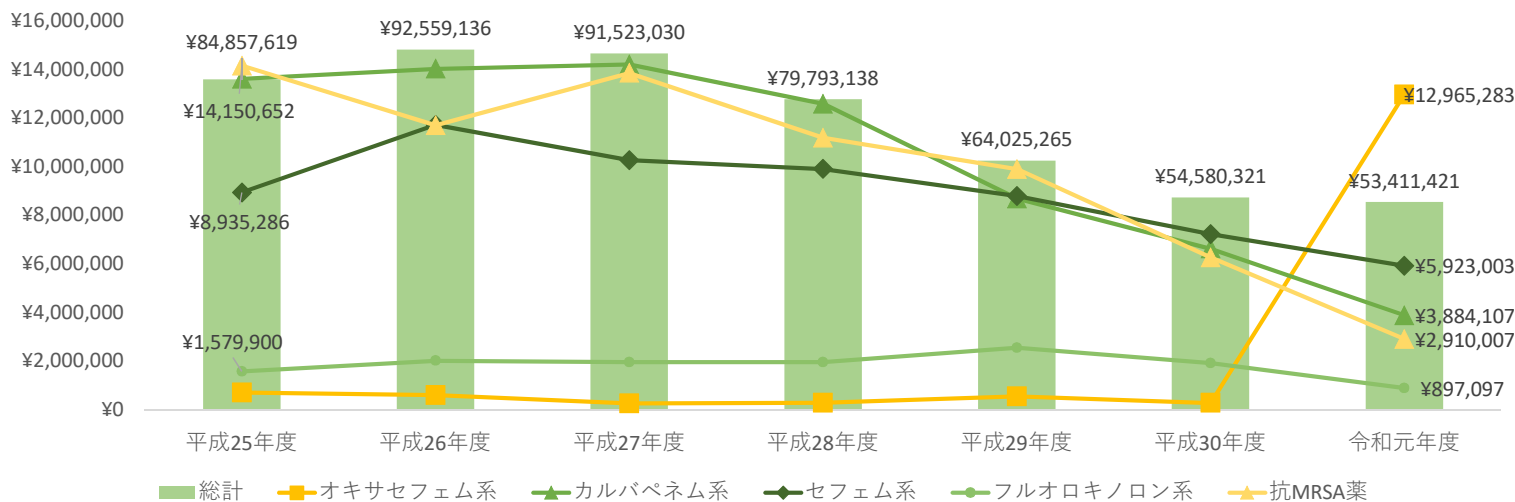
入院 内服抗菌薬使用金額推移



【分析】

- 第三世代セフェム系薬を削除したことにより使用量が減少
- 抗MRSA系薬、フルオロキノロン系薬ともにAST介入により減少。
- 内服抗菌薬使用量全体もAST活動前（平成29年度）と比較し、¥2,005,424収益増となった。

入院 静注抗菌薬使用金額推移



【分析】

- AST介入により特定抗菌薬（カルバペネム系薬、抗MRSA薬、フルオロキノロン系薬）の使用量、使用金額ともに減少した。
- 全体の総使用金額は、CEZ（セファゾリン）供給困難による代替え薬としてFMOX（フルマリン）を採用したため、AST活動前（平成29年度）と比較し¥10,613,844の収益増にとどまった。